

2 文化財保存活用区域について

2-1 文化財保存活用区域の目的

文化財保存活用区域とは、歴史的に重要な文化財が特定のエリアに多数集中している区域を核として、その周辺環境を含め、与謝野町の歴史文化の特徴を示す空間を創出するための計画区域です。

指定・未指定に関わらず多様な文化財が集中するエリアを計画区域として設定して保存・活用を図ることで、魅力的な空間の創出につながることが期待されます。これによって、所有者・管理者だけでなく、住民らも積極的に関わる「地域総がかり」体制の構築へつなげ、さらに、観光事業などに活かすことで「関係人口づくり」「交流人口づくり」を促すことを期待します。

2-2 文化財保存活用区域の設定

第2章と第3章で先述した与謝野町域の歴史文化の特徴「阿蘇海と大江山とに囲まれてー海陸クロスロードー」や調査等で把握された文化財から、国指定文化財等を核としてその周辺地域に多様な文化財が集中的に分布する区域として、野田川上中流域の左岸の区域1と主に右岸の区域2に多様な文化財が集中する区域が認められます。この2区域は、海路港と内陸の近畿中央部とを結ぶ陸路の中継拠点としての歴史文化が顕著な区域ですので、この2区域を与謝野町文化財保存活用区域として設定します。

2-3 文化財保存活用区域の概要と保存・活用に関する方針・措置

本地域計画では、下記のとおり、2つの与謝野町文化財保存活用区域を設定しました。なお、一般向けの事業を実施していく中では、与謝野町文化財保存活用区域を「与謝野町歴史文化遺産区域」とすることもあります。

ア. 与謝野町文化財保存活用区域1 「丹後ちりめん、与謝野道^{みち}エリア」

加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）を核とした区域で、三河内区・算所区・加悦区・後野区・金屋区に展開します。区域内の文化財の主な特徴は、時代的には中世から近代で、歴史的町並み・在郷町・城郭・氏神祭りです。

イ. 与謝野町文化財保存活用区域2 「与謝野大江、山の辺^べの古道^{ふるみち}エリア」

国指定文化財（史跡）「蛭子山古墳」を核とした区域で、石川区・明石区・温江区・後野区に展開します。区域内の文化財の主な特徴は、時代的には原始・古代及び中世で、大型古墳・清水信仰・鬼退治伝説です。

丹後ちりめん、与謝野道^{みち}エリア

1 概要

野田川の左岸の山裾を通る丹後往還の道沿いとその周辺に展開する文化財の集中区域で、三河内区・算所区・加悦区・後野区・金屋区に展開します。区域内の文化財の主な特徴は、歴史的町並み・在郷町・城郭・氏神祭りです。加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）を核としたこの区域は、鎌倉時代から明治・大正・昭和時代の地域の政治経済の中心域であり続けましたので、各時代の中核的な文化財が重層的に分布しています。鎌倉時代の大規模墓地の福井遺跡は、かつてこの地域に市場村が存在したことを示しています。金屋城跡や安良城跡は戦国時代から織豊期に有力国人層の地盤地域だったことを示しています。江戸時代以降は在郷町として地域の拠点であり続け、尾藤家住宅などの歴史的町並みが形成されました。明治・大正・昭和時代では、丹後ちりめん織物産業と電気・鉄道・電信電話・銀行など近代インフラが一早く整備された地域でした。織物産業の富は氏神祭りとして結晶し、今も地域に受け継がれています。

2 区域内の文化財一覧

①加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）（重要伝統的建造物群保存地区・伝統的建造物群）、②旧尾藤家住宅（京都府指定文化財・建造物）、③杉本治助家住宅（国重伝建地区の特定物件・建造物）、④西山機業場の工場群（国重伝建地区の特定物件・建造物）、⑤下村五郎助家住宅（国重伝建地区の特定物件・建造物）、⑥下村与七郎家住宅（国重伝建地区の特定物件・建造物）、⑦旧加悦町役場庁舎（京都府指定文化財・建造物）、⑧宝巖寺本堂（国重伝建地区の特定物件・建造物）、⑨吉祥寺本堂（国重伝建地区の特定物件・建造物）、⑩実相寺本堂（国重伝建地区の特定物件・建造物）、⑪浄福寺本堂（未指定・建造物）、⑫旧加悦鉄道加悦駅舎（与謝野町指定文化財・建造物）、⑬旧加悦駅転車台跡（未指定・遺跡）、⑭旧加悦鉄道線路跡（自転車道）（未指定・遺跡）、⑮天満神社本殿（京都府指定文化財・建造物）、⑯加悦谷祭り：加悦・算所の氏神天満神社祭り（神輿の渡御と芸屋台の巡行）（未指定・無形民俗文化財）、⑰御旅所（未指定・建造物）、⑱加悦の絵図（未指定・絵画）、⑲算所の絵図（未指定・絵画）、⑳舟着き場跡（未指定・遺跡）、㉑a 金色蚕糸神祭（実相寺）（未指定・無形民俗文化財）、㉑b 織物始祖祭（未指定・無形民俗文化財）、㉒手米屋小右衛門の墓碑（吉祥寺）（未指定・工芸品）、㉓安良城跡（未指定・遺跡）、㉔金屋城跡（未指定・遺跡）、㉕加悦奥川旧河道（未指定・遺跡）、㉖三縁寺廃寺跡（未指定・遺跡）、㉗福井遺跡（与謝野町指定文化財・史跡）、㉘西光寺の大型五輪塔（未指定・建造物）、㉙西光寺の板碑（与謝野町指定文化財・工芸品）、㉚倭文神社本殿（京都府登録文化財・建造物）、㉛三河内曳山祭り（山屋台の巡行）（京都府登録文化財「三河内の曳山行事」・無形民俗文化財）、㉜三河内の機屋の町並み（未指定・伝統的建造物群）、㉝三河内の絵図（未指定・絵画）、㉞一本木（未指定・無形民俗文化財）、㉟機屋の道具（未指定・有形民俗文化財）、㊱丹後ばらずし（与謝野

タイプ) (未指定・無形文化財)、⑳山本屋佐兵衛の墓碑 (中岡墓地) (未指定・工芸品)、㉑縮緬創業記念碑 (未指定・工芸品)、㉒後野愛宕神社拝殿 (与謝野町指定文化財・建造物)、㉓加悦谷祭り：後野の氏神愛宕神社祭り (芸屋台の巡行と子供歌舞伎) (京都府登録文化財「後野の屋台行事」・無形民俗文化財)、㉔後野の機屋の町並み (未指定・伝統的建造物群)、㉕木綿屋六右衛門の墓碑 (後野墓地) (未指定・工芸品)、㉖あがの吾野神社本殿 (未指定・建造物)、㉗織物の機音「ガッチャン ガッチャン」 (未指定・無形文化財)

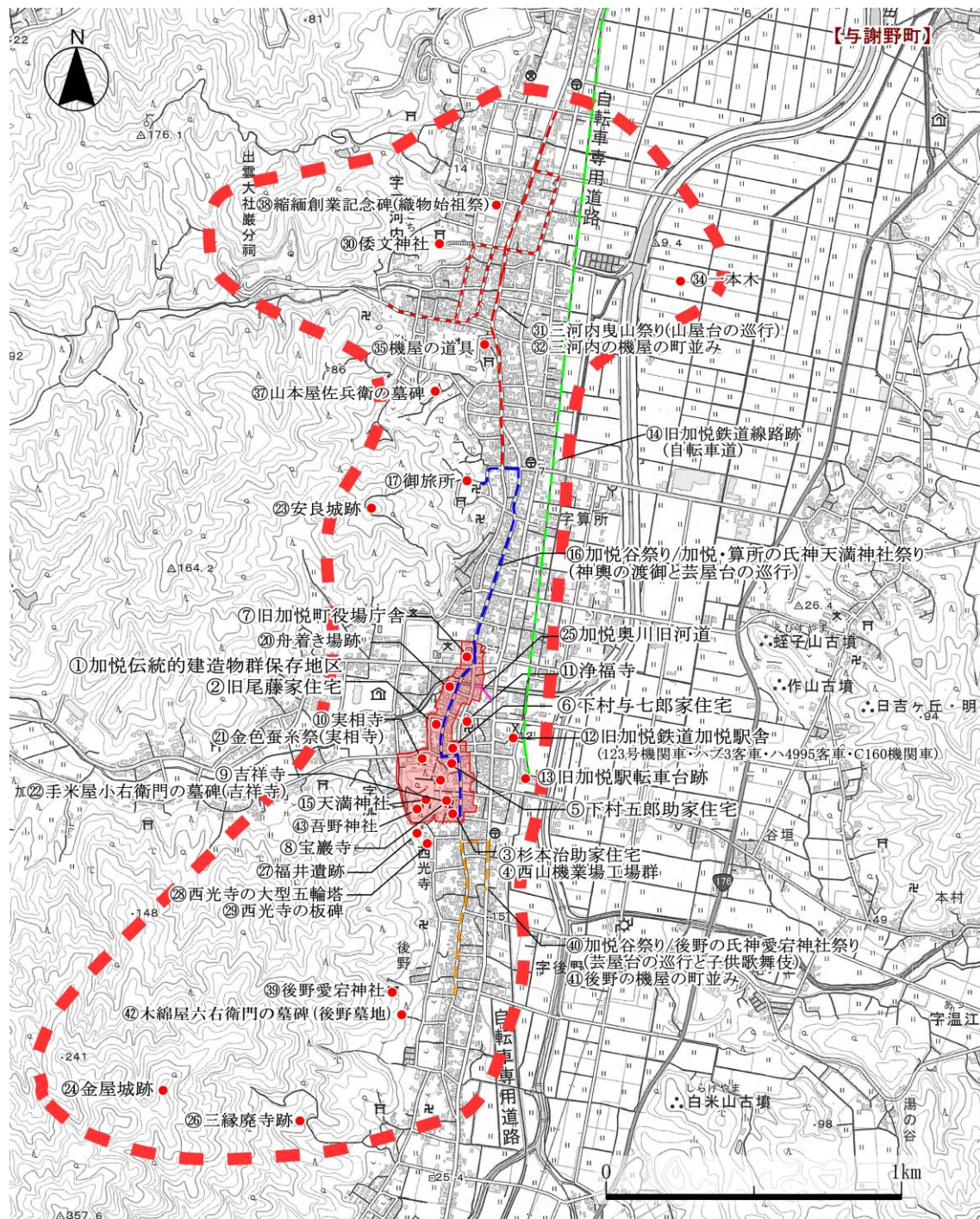


図 37 保存活用区域と区域内的の文化財の分布

3 課題・方針

与謝野町文化財保存活用区域1「丹後ちりめん、与謝野道エリア」を用いて、歴史文化の特徴を示す文化財が時代を越えて重層的に集中する地域の歴史文化の特徴を伝えることによってその保存・活用を図ります。課題・方針は下記のとおりです。

【課題】

- ・加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）・安良城跡・金屋城跡・福井遺跡などの野田川左岸の山裾を南北にのびる街道とその周辺に帯状に分布する区域内の文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場と活用が不足しています。また、これらを支える人材・組織も不足しています。
- ・当区域の歴史文化の特徴は、文化財が街道を中心として帯状に分布する点にあり、人口減少と開発による街道景観の変化が危惧されます。

【基本方針】

- ・加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）を中心として帯状に分布する多様な文化財を有する本エリアの情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供を推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出します。
- ・当区域の歴史文化の特徴である山裾にのびる街道とその周辺に展開する文化財を有するエリアの景観の保全を維持する仕組みを作り出します。

4 措置

与謝野町文化財保存活用区域1「丹後ちりめん、与謝野道エリア」を利用した保存・活用のための措置を下記のとおりです。

38 (再掲)

事業名	加悦伝統的建造物群保存地区修理修景事業									
事業内容	加悦伝統的建造物群保存地区の伝統的建造物の保存のための修理修景事業を推進します。修理周期を延長するための小修理の実施やモニタリングの実施の必要性を周知します。 ・財源：文化庁補助を利用します。									
事業期間(年度/令和)	④	⑤	⑥	⑦	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家	○	団体			町民	◎	
財源	与謝野町	○	京都府	○	国	◎		民間自費	◎	寄付他

40 (再掲)

事業名	加悦伝統的建造物群保存地区保存意識啓発事業									
事業内容	加悦伝統的建造物群保存地区の適切な保存を推進するため所有者や相続予定者に対して文化財の保存や継承に関する意識啓発を説明会等で繰り返し実施します。ちりめん街道を守り育てる会と連携して機関誌を発行するなどし、対面での説明も含め、関係者全体に対して保存・活用対策の状況をこまめに周知します。									
事業期間(年度/令和)	④	⑤	⑥	⑦	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家		団体		町民		地区住民	○
財源	与謝野町	◎	京都府		国		民間自費		寄付他	

41 (再掲)

事業名	加悦伝統的建造物群保存地区空き家対策推進事業									
事業内容	加悦伝統的建造物群保存地区の持続を図るため、空き家バンク制度や与謝野町移住定住促進制度を運用し、居住者・利用者を募ります。 ・庁内連携：交流人口行政部署									
事業期間(年度/令和)	④	⑤	⑥	⑦	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家		団体		町民		民間業者	○
財源	与謝野町	◎	京都府		国		民間自費		寄付他	

57 (再掲)

事業名	説明板設置事業									
事業内容	来訪者用の理解を促すために、毎年数件ずつ、現地に説明板を設置します。まず、氏神祭り・山城跡等から始めます。 ・庁内連携：観光行政部署									
事業期間(年度/令和)	④	⑤	⑥	⑦	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家		団体		町民	○		
財源	与謝野町	◎	京都府	○	国		民間自費		寄付他	

59 (再掲)

事業名	文化財ガイド情報誌作成事業									
事業内容	来訪者用の歴史文化情報「丹後与謝野の歴史文化」をまとめた冊子を作成、周知を図ります。 ・庁内連携：観光行政部署 ・財源：京都府連携交付金の利用を検討します。									
事業期間(年度/令和)	4	5	6	7	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家	○	団体	○	町民	○		
財源	与謝野町	◎	京都府	○	国		民間自費		寄付他	

77 (再掲)

事業名	講座・シンポジウム事業									
事業内容	「丹後ちりめん、与謝野道エリア」区域内の文化財を題材として、本区域の歴史文化の特徴の基層を明らかにします。 ・庁内連携：観光行政部署 ・財源：京都府連携交付金の利用を検討します。									
事業期間(年度/令和)	4	5	6	⑦	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家		団体			町民	○	
財源	与謝野町	◎	京都府	○	国			民間自費		寄付他

82 (再掲)

事業名	現地周遊事業									
事業内容	「丹後ちりめん、与謝野道エリア」区域内の歴史文化を理解するために、区域内の文化財の現地観察を実施し、保存への理解を促します。 ・財源：京都府連携交付金の利用を検討します。									
事業期間(年度/令和)	4	5	⑥	7	8					
取組主体	行政	◎	専門家		団体			町民		
財源	与謝野町	◎	京都府	○	国			民間自費		寄付他

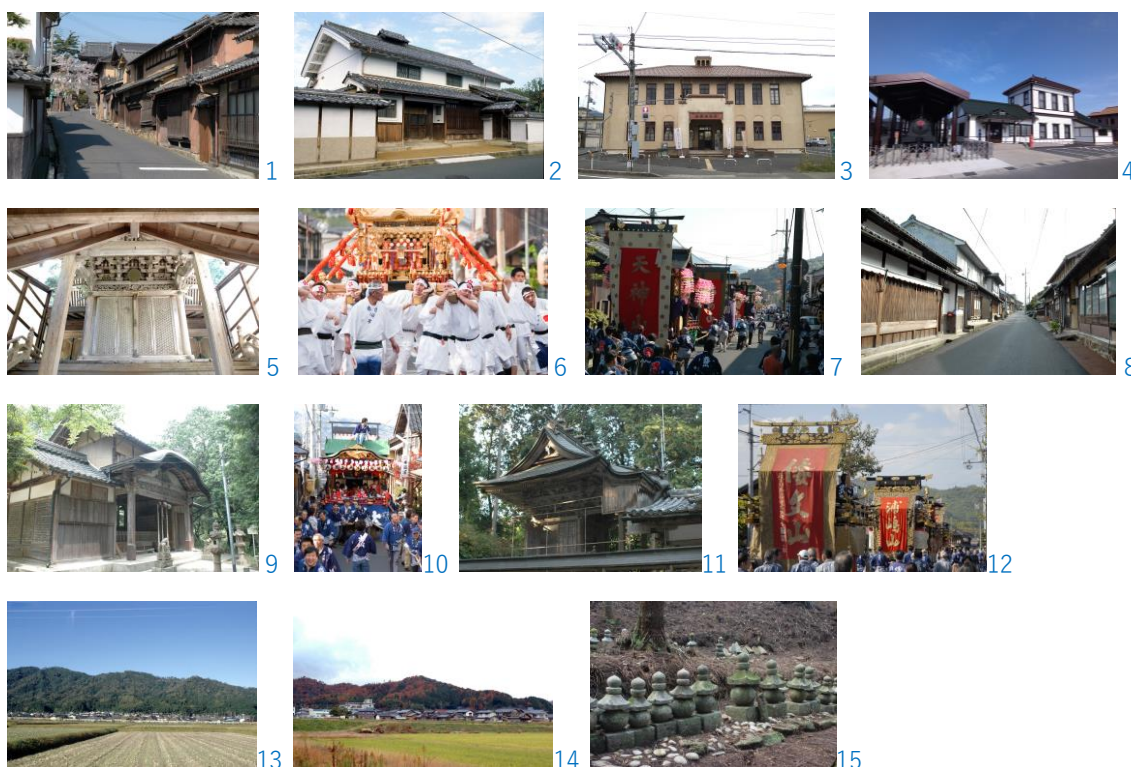
85 (再掲)

事業名	加悦伝統的建造物群保存地区保存・活用活動支援事業									
事業内容	加悦伝統的建造物群保存地区の保存・活用活動を実施するちりめん街道を守り育てる会等の団体に対して、与謝野町との連携を深め、活動情報の提供・活動資金の支援を行います。									
事業期間(年度/令和)	④	⑤	⑥	⑦	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家		団体			町民		地区住民 ○
財源	与謝野町	◎	京都府		国			民間自費		寄付他

88 (再掲)

事業名	文化財保存活用人材「文化財思いびと」育成事業									
事業内容	地域の歴史文化の成り立ちに対して、自発的に疑問を持ち、解明し、発信・伝える人材「文化財思いびと」の育成に努めます。歴史文化施設等のガイド員養成にも役立つような講座を実施します。 ・庁内連携：観光行政部署 ・財源：京都府連携交付金の利用を検討します。									
事業期間(年度/令和)	4	5	⑥	⑦	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家	○	団体			町民	○	元町民 ○
財源	与謝野町	◎	京都府	○	国			民間自費		寄付他

事業名		景観保全制度検討事業							
事業内容	文化財保存活用区域の全域を維持するために景観保全の視点から検討します。 ・ 庁内連携：観光行政部署・景観行政部署 ・ 財源：主に与謝野町負担								
事業期間（年度/令和）	4	5	6	7	⑧				
取組主体	行政	◎	専門家	○	団体		町民	○	
財源	与謝野町	◎	京都府		国		民間自費		寄付他



1 加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）、2 旧尾藤家住宅、3 旧加悦町役場庁舎、4 旧加悦鉄道加悦駅舎と123号機関車、5 天満神社本殿、6 加悦・算所の氏神天満神社祭りの神輿渡御、7 加悦・算所の氏神天満神社祭りの芸屋台巡行、8 後野の機屋の町並み、9 後野愛宕神社拜殿、10 後野の氏神愛宕神社祭りの芸屋台巡行、11 倭文神社本殿、12 三河内曳山祭り、13 金屋城跡、14 安良

与謝野大江、山の辺の古道エリア

1 概要

野田川の主に右岸の山裾・山中に展開する文化財の集中区域で、石川区・明石区・温江区・後野区に展開します。区域内の文化財の主な特徴は、大型古墳・清水信仰・鬼退治伝説です。国指定文化財（史跡）「蛭子山古墳」を核としたこの区域は、弥生時代には日吉ヶ丘貼石墓や環濠集落跡があり、古墳時代には大型古墳が集中するなどからわかるように、原丹後王国の南部中核圏でした。また、大虫神社跡伝承地や伝阿知江神社伝承地では大江山連峰からの若清水が滾々と湧き続ける清水信仰地でもあったと想像されます。また、大虫神社の犬鏡伝承は、丹後の南境界をビジュアル的に示す大江山連峰とその周辺には鬼退治伝説が根付き、異界性を有する地域として古代から人々に認識されてきました。

2 区域内の文化財一覧

①蛭子山古墳（国指定文化財・史跡）、②作山古墳（国指定文化財・史跡）、③日吉ヶ丘遺跡（国指定文化財・史跡）、④明石大師山墳墓群（国指定文化財・史跡）、⑤温江丸山古墳跡（未指定・遺跡）、⑥温江大塚古墳跡（未指定・遺跡）、⑦谷垣遺跡（未指定・遺跡）、⑧白米山古墳（国指定文化財・史跡）、⑨嶋谷東古墳群（京都府指定文化財・史跡）、⑩後野円山古墳群（京都府指定文化財・史跡）、⑪七面山古墳（未指定・遺跡）、⑫入谷古墳群（未指定・遺跡）、⑬須代遺跡（未指定・遺跡）、⑭須代銅鐸出土地（未指定・遺跡）、⑮寺岡遺跡（未指定・遺跡）、⑯滝岡田古墳（京都府指定文化財・史跡）、⑰金屋上司古墳（与謝野町指定文化財・史跡）、⑱小虫神社本殿（未指定・建造物）、⑲大虫神社本殿（未指定・建造物）、⑳大虫神社伝承地（池ヶ成）（未指定・遺跡）、㉑池ヶ成の湧水池（未指定・名勝地）、㉒床浦の滝（未指定・名勝地）、㉓伝阿知江神社本殿（未指定・建造物）、㉔鮭の遡上地点（未指定・名勝地）



- 1 蛭子山古墳・作山古墳
- 2 日吉ヶ丘遺跡 1号墓
- 3 寺岡遺跡 SX56号墓
- 4 須代遺跡

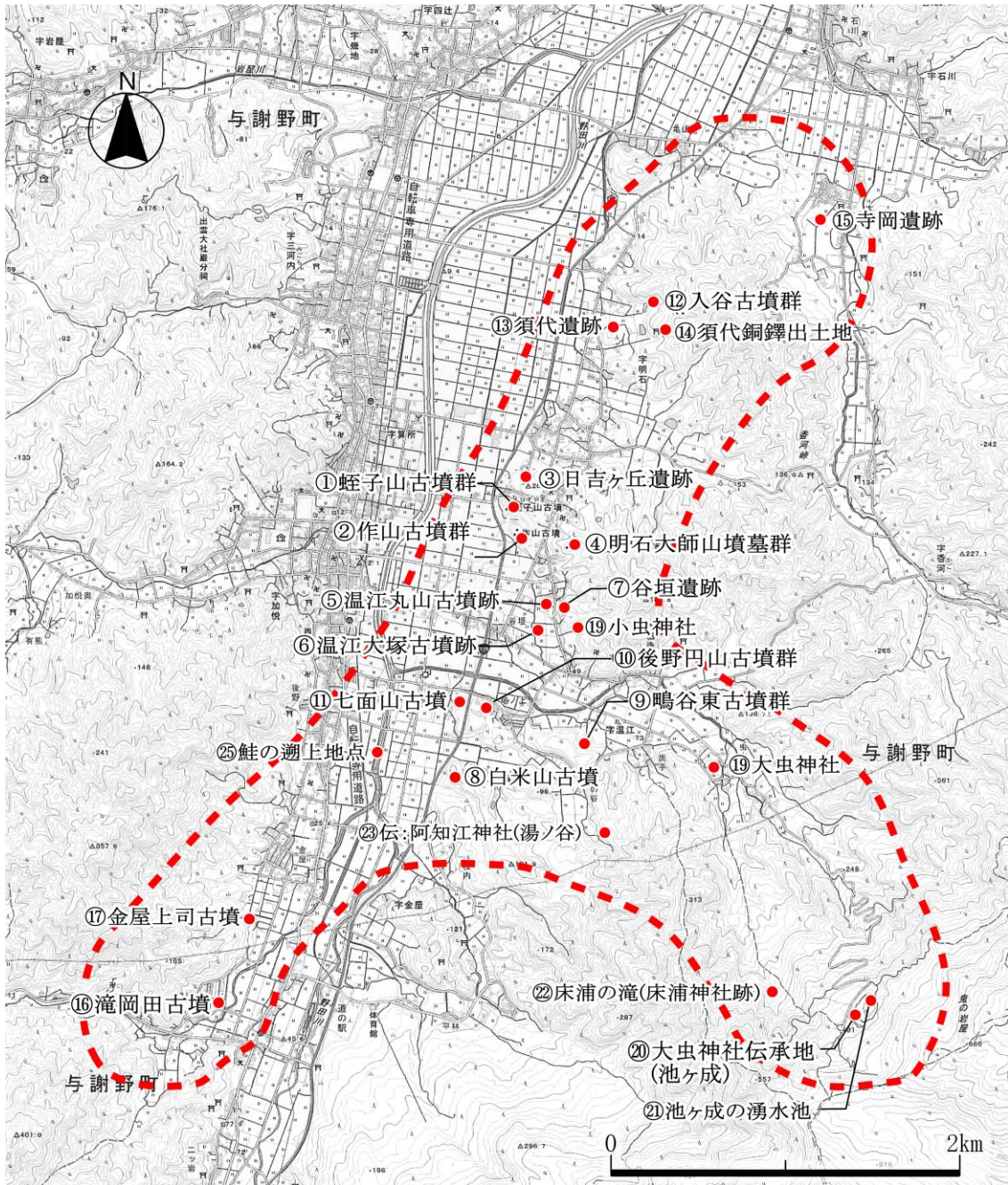


図 38 保存活用区域と区域内的の文化財の分布



鳴谷東1号墳



滝岡田古墳

3 課題・方針

与謝野町文化財保存活用区域2「与謝野大江、山の辺の古道エリア」を用いて、歴史文化の特徴を示す文化財が時代を越えて重層的に集中する地域の歴史文化の特徴を伝えることによってその保存・活用を図ります。課題・方針は下記のとおりです。

【課題】

- ・国史跡蛭子山古墳・大虫神社・池ヶ成の湧水地などの主に野田川右岸で大江山連峰の中腹・裾野の山中に分布する区域内の文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場と活用が不足しています。また、これらを支える人材・組織も不足しています。
- ・当区域の歴史文化の特徴は、主に大江山連峰の中腹・裾野に古代遺跡や古墳及び信仰に関する湧水地点がまとまって分布している点にあり、大規模な開発による自然景観の変化が危惧されます。

【基本方針】

- ・主に大江山連峰の中腹・裾野に古代遺跡や古墳及び信仰に関する湧水地点がまとまって分布する本エリアの情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供を推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出します。
- ・当区域の歴史文化の特徴である主に大江山連峰の中腹・裾野に古代遺跡や古墳及び信仰に関する湧水地点がまとまって分布する本エリアの景観及び湧水地点の保全を維持する仕組みを作り出します。



床浦の滝



池ヶ成の湧水地



大虫神社



伝：阿知江神社

4 措置

与謝野町文化財保存活用区域2「与謝野大江、山の辺の古道エリア」を利用した保存・活用のための措置を下記のとおりです。

57 (再掲)

事業名	説明板設置事業									
事業内容	来訪者用の理解を促すために、毎年数件ずつ、現地に説明板を設置します。遺跡に関しては既存の説明板があり、未設置分の追加をします。また、大虫神社伝承地など清水信仰に関する説明板を新設します。 ・庁内連携：観光行政部署									
事業期間(年度/令和)	④	⑤	⑥	⑦	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家		団体		町民	○		
財源	与謝野町	◎	京都府	○	国		民間自費		寄付他	

59 (再掲)

事業名	文化財ガイド情報誌作成事業									
事業内容	来訪者用の歴史文化情報「丹後与謝野の歴史文化」をまとめた冊子を作成、周知を図ります。 ・庁内連携：観光行政部署 ・財源：京都府連携交付金の利用を検討します。									
事業期間(年度/令和)	4	5	6	7	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家	○	団体	○	町民	○		
財源	与謝野町	◎	京都府	○	国		民間自費		寄付他	

77 (再掲)

事業名	講座・シンポジウム事業									
事業内容	「与謝野大江、山の辺の古道エリア」区域内の文化財を題材として、本区域の歴史文化の特徴の基層を明らかにします。 ・庁内連携：観光行政部署 ・財源：京都府連携交付金の利用を検討します。									
事業期間(年度/令和)	4	5	6	⑦	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家		団体		町民	○		
財源	与謝野町	◎	京都府	○	国		民間自費		寄付他	

82 (再掲)

事業名	現地周遊事業									
事業内容	<p>「与謝野大江、山の辺の古道エリア」区域内の歴史文化を理解するために、区域内の文化財の現地観察を実施し、保存への理解を促します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内連携：観光行政部署 ・ 財源：京都府連携交付金の利用を検討します。 									
事業期間 (年度/令和)	4	5	⑥	7	8					
取組主体	行政	◎	専門家		団体			町民		
財源	与謝野町	◎	京都府	○	国			民間自費		寄付他

88 (再掲)

事業名	文化財保存活用人材「文化財思いびと」育成事業									
事業内容	<p>地域の歴史文化の成り立ちに対して、自発的に疑問を持ち、解明し、発信・伝える人材「文化財思いびと」の育成に努めます。歴史文化施設等のガイド員養成にも役立つような講座を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内連携：観光行政部署 ・ 財源：京都府連携交付金の利用を検討します。 									
事業期間 (年度/令和)	4	5	⑥	⑦	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家	○	団体			町民	○	元町民 ○
財源	与謝野町	◎	京都府	○	国			民間自費		寄付他

89

事業名	景観保全制度検討事業									
事業内容	<p>文化財保存活用区域の全域を維持するために景観保全の視点から検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内連携：観光行政部署・景観行政部署 ・ 財源：主に与謝野町負担 									
事業期間 (年度/令和)	4	5	6	7	⑧					
取組主体	行政	◎	専門家	○	団体			町民	○	町外者
財源	与謝野町	◎	京都府		国			民間自費		寄付他